

活動名	団体名	特定非営利活動法人 あいあいねっと
	地域	広島県広島市
	代表者	理事長 原田 佳子
	支援金額	20 万円
活動概要		
<p>人口増加、バイオ燃料等で、世界の食料危機に拍車がかかる中、日本の食料自給率は主要国の中でも一番低く、食糧の確保を外国からの輸入に頼っています。その一方で、食品廃棄物は把握しきれないほど多く、日本人の食べ物を大切にするという意識の薄れが、朝食欠食による学力の低下、栄養バランスの乱れ、生活習慣病による医療費の増大など大きな問題の原因の一つとなっています。そこで、子ども達やその保護者に食べ物の大切さや「食」に対する感謝の気持ちを伝えることを目的に、フードバンクに実際に寄せられる食品やパネル、フードバンクを題材にした人形劇を用いて、フードバンクの紹介や日本の食料自給率、食糧廃棄物の現状等の食糧問題について解説、解決策をディスカッションし、自分たちにできることは何かを考え実行できるようなイベントを開催しました。</p> <p>◆実施時期 平成 24 年 4 月から 11 月 保育園や幼稚園の講堂や地域のイベント 合計 11 回。</p> <p>◆参加人数 参加総人員:4,220 名</p>		



フードバンク人形劇の動物さん達



デイケアセンターにて上演



こども園にて上演



エコまつり環ッハッハ in よしじまにて上演

◆実施に伴う効果

- ・園児からは、「苦手なものも残さず食べる、残したらもったいないので食べられる量だけお皿に取る、みんなで分けて食べる、食べ物が無いと大変！！」など多くの意見が聞かれた。保育士からは、「以前行った園の保育士から園児に好評だったと伺い、大変楽しみにしていました。子たちにもわかりやすいストーリーや音響などの演出がされておりとてもよかったです。これをきっかけに食べ物を大切にする気持ちを育てていきたいです。」と感想をいただきました。
- ・保育園で行った人形劇の動画を YouTube にて公開したことがきっかけで、広島県観光県民局環境政策課より、広島市が推進している「スクールエコ事業」へ登録されました。
動画 URL http://www.youtube.com/watch?v=m-0h_24fHMI
- ・可部地域の福祉団体が集まるイベントにてフードバンク人形劇を上演して欲しいと依頼があり、子どもスペースにて上演させていただきました。

◆苦勞した点

- ・小さな子ども達にもフードバンク活動がわかるように言葉や内容に気を付けてストーリーを構成することに時間がかかりました。デイケアセンターに通う高齢者の皆様に意見をいただきながら、動物たちの自己紹介の前振りを付けたり、言葉の表現を直しました。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・対象者が園児ということもあり、対話という形での振り返りとなりました。対象年齢を上げることで、問題の内容を掘り下げ、アンケート調査などから効果を把握できるような取り組みを次回から検討していきたいと考えます。
- ・人形劇の演者が当法人のボランティアスタッフであったため、通常の活動の後での練習や本番ということもあり、負担が大きく、当初の計画では1ヶ月に1度の年12回を計画していたが回数を減らしてしまいました。練習時間や上演の日程など、調整をしていきたいと思えます。
- ・園児の人数が予想以上に多かったため、セットがあまり大きくなかったことと、声が聞き取りにくかったという反省点があり、今後、ピンマイクなどの購入も検討したいと思えます。
- ・今後、地域のイベントや当法人が主催するイベントにおいて、対象者を考慮したより効果的な媒体を作成し、食料問題を考える場を設けていきたいと考えます。

◆活動を終えての感想・意見等

フードバンク活動を通じた食育活動に御支援くださいました、公益財団法人 マツダ財団様、各こども園の皆様へ厚く御礼申し上げます。未来を担う子供たちに、普段忘れがちな、食べることの大切さを訴えることができたのではと感じています。我が国の食糧自給率は40%を下回り、多くの食品を外国からの輸入に頼るその一方で、大量の食品ロスが出ています。食品ロス問題には、食べ物を大切に食べるという国民一人一人の意識が必要不可欠です。まだ食べられる食品をゴミとして処分する前に、焼却処分や飼料や肥料への活用とは違う、食べ物を食べることでの環境保全と食べることに感謝の念をより多くの人に伝える活動を展開していきたいと思えます。ありがとうございました。